

令和8年度

# 青森県老人福祉施設大会

## 開催要項

働き手が不足し、職員定着に向けた組織づくりが求められる中、2024年には認知症基本法が施行され支援のあり方も改めて問われています。

本大会では、職員や利用者、組織が笑顔になるための組織づくりや、“人として生きる事を支援する”ことへの視点についてお伝えします。

また、県内事業所より自施設の取り組みを発表し共有する場としていただく他、これまで多年にわたり老人福祉事業に携わっている功績顕著な方を大会の席上で表彰するために開催します。

### 期 日

令和8年 **7月1日** 水

### 会 場

**ホテル青森**  
3階 孔雀の間

### 申込締切

令和8年 **6月15日** 月

### 定 員

**150名**

### 参加対象

- 老人福祉施設・介護保険事業所  
またはその法人で勤務している方  
(理事長・施設長・介護職・看護職・事務職などの職種は問いません)

### 費 用

- 大会参加費 1人あたり **4,000円**
- 交流会参加費 1人あたり **8,000円**

### 講演 1



### 笑う門にはいい介護

笑う門にはいい介護の会 代表  
なかむら まなぶ  
**中村 学氏**

### 講演 2



### これからの認知症ケア

株式会社大起エンゼルヘルプ 取締役  
わだ ゆきお  
**和田 行男氏**

主催／公益社団法人青森県老人福祉協会

## ○プログラム

時間	内容
12:00～12:30	受付
12:30～12:50 (20分)	開会／主催者挨拶 公益社団法人青森県老人福祉協会 会長 棟方 光秀 表彰式／永年勤続者表彰(勤続15年以上)など 来賓祝辞
12:50～13:40 (50分)	実践発表(各施設にて取組した実践内容の発表) 3施設・事業所(各15分) 実践発表者に対する表彰式
13:40～13:50	休憩
13:50～14:25 (35分)	機器紹介 DX推進『介護施設ICT化に向けた導入・活用支援』／キャノンシステムアンドサポート株式会社 排泄予測デバイス『DFree』／DFree株式会社
14:25～14:35	休憩
14:35～15:50 (75分)	講演1 「笑う門にはいい介護 ～笑顔第一主義の仕組み～」 講師:笑う門にはいい介護の会 代表 中村 学 氏
15:50～16:00	休憩
16:00～17:15 (75分)	講演2 「これからの認知症ケアを考える ～人として生きること～」 講師:株式会社大起エンゼルヘルプ 取締役 和田 行男 氏
17:15	閉会
17:45	交流会

## ○協会賛助会員による展示・販売

当日は会場前ロビーにて本協会の賛助会員(地域福祉を支える福祉パートナー会員)の方々による介護用品、福祉用具等の展示・販売を予定しております。是非お立ち寄りください。

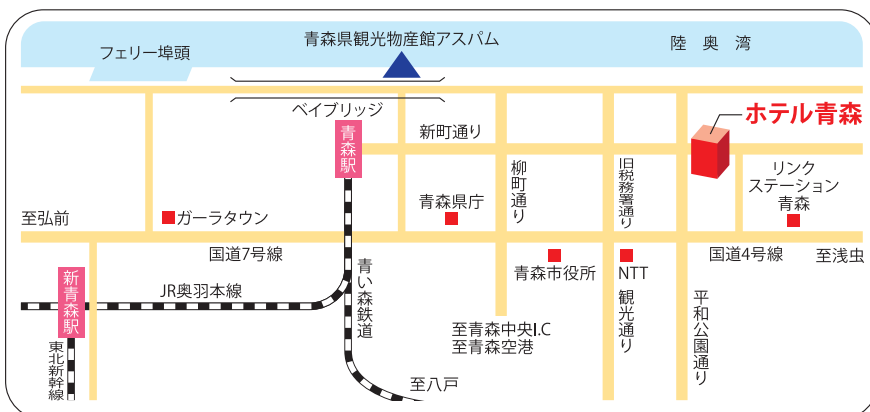
## ○その他

ホテル青森の駐車場をご利用される場合は入場方法にご注意ください。「ホテル青森」のボタンで発券し、1階フロントに駐車券を提示することで**4時間無料**となります。(以降の追加料金…最初の1時間300円、以降、30分毎150円)

なお、誤って「一般」のボタンで発券した場合は割引が適用されませんのでご注意ください。

また、駐車スペースには限りがありますので公共交通機関や近隣の有料駐車場ご利用もご検討ください。

## ○会場案内図



会場: **ホテル青森**

青森市堤町1-1-23 ☎017-775-4141

交通案内

- ①JRをご利用の場合  
青森駅よりタクシーで約5分  
新青森駅よりタクシーで約20分
- ②バスをご利用の場合  
国道4号線文化会館前下車徒歩3分
- ③お車をご利用の場合  
東北自動車道青森中央ICより約15分

# 講師紹介

## 講演1

### 『笑う門にはいい介護 ～笑顔第一主義の仕組み～』

なかむら まなぶ

講師 笑う門にはいい介護の会 代表 **中村 学氏**

#### プロフィール

島根県出身 1963年生 幼稚園の頃より人を笑わせることが好きな子どもだった。小学1年生で同じクラスになった宮根誠司と仲良くなり漫才、コントをするようになった。高校では柔道部であったが文化祭等で脚本、演出、主演と演劇もやった。18歳より東京へ。大学を中退し演劇、コント等の活動を始める。20代後半は吉本興業に所属した。30歳の時、母が倒れ、吉本興業を退所し島根県へリターン。初めての介護生活が始まるがうまくいかなかった。ストレスが溜まり母へ厳しくあたる日々が8年続いた。友人の言葉、地域の方との会話から「笑顔」の大切さを痛感。母への介護が一気に変わり「笑顔」の大切さを今度は実感。介護するに「笑顔」は不可欠と悟り「笑う門にはいい介護」を掲げて講演活動を始めた。通所介護施設長時代は笑顔日本一を目指しマスコミの取材依頼多数の人気施設を作った。

職歴：介護士・主任・施設長・ケアマネ・介護事業統括部長・保育園長  
現在：島根県大田市議会議員・笑う門にはいい介護の会（個人事業）  
資格：介護福祉士・介護福祉士実務者研修教員・介護支援専門員・福祉住環境コーディネーター1級  
講演実績：山口県訪問介護事業所連絡協議会 山梨県老人福祉施設協議会、山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会、株式会社ワイズマンの研修動画作成、宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会研修動画作成、鳥取県老人福祉施設協議会、佐世保市高齢者虐待防止研修等多数。



## 講演2

### 『これからの認知症ケアを考える』～人として生きること～

わだ ゆきお

講師 株式会社大起エンゼルヘルプ 取締役 **和田 行男氏**

#### プロフィール

1955年高知県にて誕生 現在名古屋市在住  
株式会社大起エンゼルヘルプ取締役、介護事業部長  
一般社団法人注文をまちがえる料理店理事長

1987年国鉄マンから介護職へ転身  
特養、デイサービス、老健で介護職や生活相談員を経て1999年東京都初のグループホーム施設長となり2003年より(株)大起エンゼルヘルプへ  
デイサービスセンター勤務時から、利用者支援で「自分のことは自分で・互いに助け合って・社会とつながって」を掲げて取り組み、グループホームにおける実践で開花させる。

その実践が、多くのメディアで取り上げられ、当時は同業者から「利用者自身が自分のことを行えるように支援すること」を虐待だとバッシングされていたが、社会の方が追い付いてきて一件落着。その後もいろいろな媒体を通じて「認知症のこと」「介護のこと」について発信し続けている。

2012年「NHK プロフェッショナル～仕事の流儀～」に出演  
2017年「注文をまちがえる料理店」を取り組み、世界的な賞を受賞するなど取り組みは世界150か国で紹介され、今年秋の完成予定でドキュメント映画製作に取り組んでいる（来秋日本公開予定）

健達ねっとにてコラム連載中！（毎月1日・15日更新）  
和田行男の好奇心が拓いた介護のリアル-認知症と共に歩む- →



# 機器紹介

DX推進『介護施設ICT化に向けた導入・活用支援』  
キヤノンシステムアンドサポート株式会社

排泄予測デバイス『DFree』／DFree株式会社